

蜜源樹木の増殖へ 岐阜市で苗木植樹

県養蜂組合連合会

県養蜂組合連合会は、岐阜市北野北の岐阜ファミリパークで、高品質な蜂蜜の生産基盤の強化のため、

蜜源となる苗木を植える養蜂家
＝岐阜市北野北、岐阜ファミリパーク



蜜源となる樹木の苗木300本を植樹した。

県内各地で毎年、「蜜源樹

木増殖事業」として続けており、51回目。連合会は11組合、98人が加盟している。今回は養蜂家ら約50人が参加。見栄えも良いようにと道路沿いなどに支柱を立てて、シンタイアケボノとツツジの苗木を植え、肥料をまいた。連合会長で、養蜂・食品製造の秋田屋本店（岐阜市加納富士町）の中村源次郎会長（74）は「蜜源となる樹木は、環境にも公園の景観にもいい。本来の里山を復活させ、次の世代に残していきたい」と語った。（山岸達矢）